

## シロアゴガエル

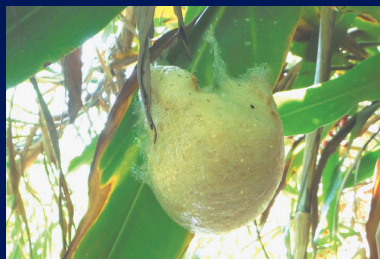
東南アジア原産。1964年に物資にまぎれて沖縄島に持ち込まれたと考えられています。2007年に石垣島の旧空港周辺で確認されて以降、生息域を広げ、現在では石垣島全域での生息が確認されています。やぶの中にも多く、成体の姿を見ることは難しいカエルです。体色は比較的地味で見つけにくく、吸盤でどこにでも張り付いて移動できることから、まわりの島々へ拡がっていくことが心配されています。



成体



幼生 (オタマジャクシ)

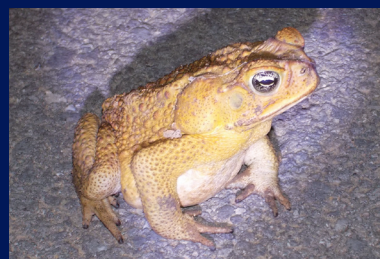
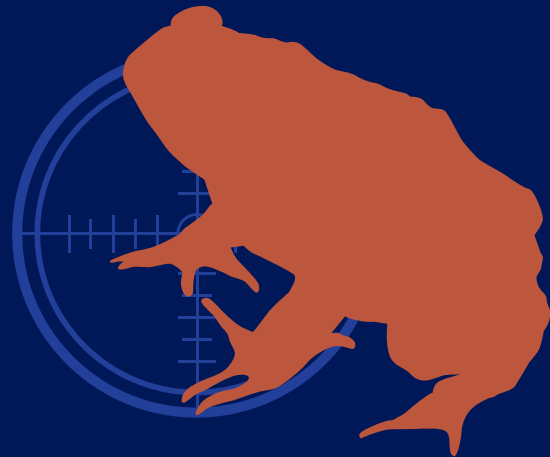


卵塊

繁殖期は主に4～10月。直径5～8cmくらいのクリーム色のメレンゲ状の卵塊(泡巣)を、池や水たまり、集水溝などの水面上にある木の枝やコンクリートの壁面などに産みます。泡巣の中には小さな卵が400個くらい入っています。泡巣は、取り除いて乾燥した地面に置けば、駆除できます。

## オオヒキガエル

1978年に石垣島に持ち込まれ、島全体に広がりました。過去に西表島や与那国島などでも発見されたことがあり、石垣島から樺木や資材などにくっついて、まわりの島々へ拡がるのが心配されています。



成体



幼生 (オタマジャクシ)



卵塊

オオヒキガエルはゼラチン質のひも状の卵塊の中に2～4万個の卵を産みます。産卵場所は水たまり、水田など止水が中心ですが、流れの緩やかな溪流でも産卵することがあります。

### シロアゴガエル・オオヒキガエルに関するお問い合わせ

●石垣自然保護官事務所  
〒907-0011 沖縄県石垣市八島町2-27  
TEL 0980-82-4768 FAX 0980-82-0279

### 西表島でシロアゴガエル・オオヒキガエルを発見したら

- 西表自然保護官事務所 〒907-1432 沖縄県八重山郡竹富町宇古見  
TEL 0980-84-7130 FAX 0980-85-5582
- 西表野生生物保護センター TEL 0980-85-5581

## 外来生物って？

もともとすんでいた生きものや、渡り鳥のように自分から飛んできたりする生きものと違って、海外からペットとして持ち込まれたものが逃げたり、海外からの貨物にまぎれて入ってきたりした生きものたち(人間活動によって他の地域から持ち込まれた生きものたち)のことを「外来生物」と言います。

このうち、生きものどうしのつながりに悪い影響をあたえたり、人に害があったりする生きものは「特定外来生物」に指定され、飼ったり、持ち運んだり、ほかの場所に放したりすることが禁じられています。たとえば、アフリカが原産とされるボタンウキクサという水草は観賞用としてホームセンターなどで販売されたものが捨てられるなどし、水面をおおいつくほど広がってしまった場所もあります。水中に光が届かなくなるため、水温や水質の低下をまねき、もともといた川の生きものが生きていけなくなったりします。

国内の生きものも、別の地域に人が移動させることで問題がおきます。八重山諸島だけにすむサキシマハブはもともと沖縄にいるハブと混ってしまうだけではなく、ハブよりかなり高い割合で人にかむ被害が生じています。また、本来毒ヘビのいない宮古島でも近年見つかって、人がかまれる危険が出ています。

生きものはそれだけ単独で生きているわけではなく、生きものどうしのつながりや、暮らしている環境の中で、長い時間をかけて関係を築き、微妙なバランスを保っています。どの外来生物も、もともと暮らしていた地域では、ごくふつうの生きものであることを忘れてはなりません。外来生物被害予防三原則では、「入れない」「捨てない」「拡げない」としていますが、身勝手な行為がときに取り返しのつかない大きな問題を引き起こすことがあるのです。



庭先で違法に栽培されているボタンウキクサ

## わたしたちにできること

- 生きものは、もともとすんでいた地域から持ち出したりしないようにしましょう。同じ種であっても、すむ場所が違わずと少しづつ違いが見られることがありますが、これは長い年月をかけて築かれてきた「生きものたちの歴史」といえます。
- 特定外来生物を飼ったり育てている人を見かけた場合は、環境省をはじめとする行政機関にお知らせください。また、もし知らずに飼ったり育てていた場合はご相談ください。けっして、どこかに捨てたりしないでください。
- 通学・通勤や散歩しているときに会える生きものについて、どれだけ名前をあげられますか。身近な生きものたちをよく知ることが、外来生物の発見と対策につながります。いつもと違う生きものを見かけたら、図書館やインターネットなどを使って調べましょう。
- 草刈りなど、地域や学校で行われる活動のひとつに、外来生物防除をとりいれてみましょう。その場合、やり方によってはかえって外来生物を増やしたりしてしまうこともあります。防除のやり方など、環境省をはじめとする行政機関にご相談ください。

## 外来生物についてさらに知りたい人のために



外来生物法(環境省)  
<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>



侵入生物データベース(独)国立環境研究所  
<http://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/>



那覇自然環境事務所管内の外来生物  
<http://kyushu.env.go.jp/naha/wildlife/index.html#gairai>



沖縄でみられるカエルを調べてみよう(おきなわカエル商会)  
<http://www.okinawa-kaeru.net/index.html>

## 発行・著作/環境省九州地方環境事務所那覇自然環境事務所

〒900-0027 沖縄県那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル4階  
TEL 098-858-5824 FAX 098-858-5825

制作/株式会社南西環境研究所

デザイン/株式会社平山印刷 イラスト/大城美千恵

協力/戸田守(琉球大学熱帯生物圏研究センター)

小原祐二(おきなわカエル商会)  
<http://www.okinawa-kaeru.net/>

2015年2月発行



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



## 特定外来生物

# シロアゴガエル オオヒキガエル

## を知っていますか？





## 八重山の在来カエル

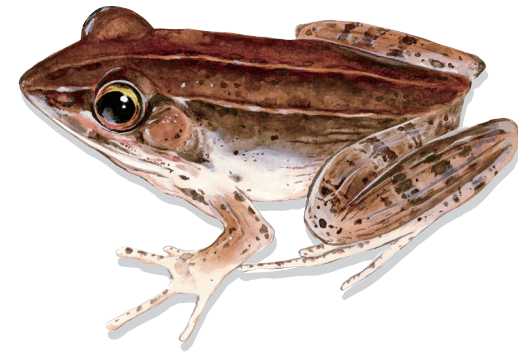
### ヤエヤマハラブチガエル

絶滅危惧Ⅱ類

分布：石垣島、西表島

全長：体長4～5cm

特徴：「コッコッコッ…」という尻上がりの声で鳴く。



### サキシマヌマガエル

分布：八重山諸島（その他宮古諸島）

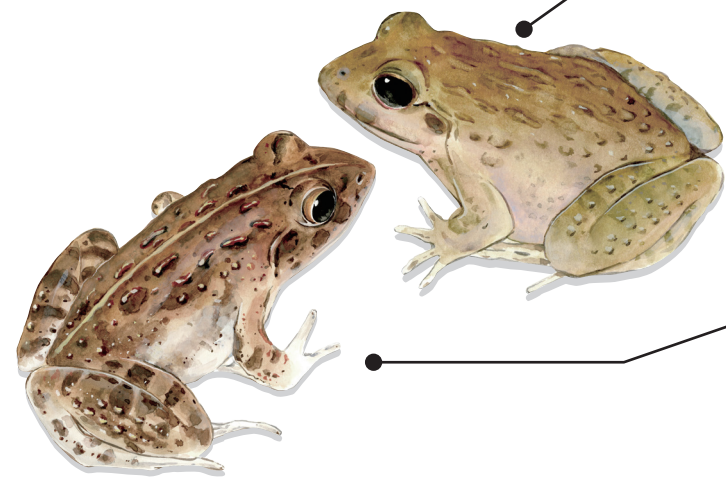
全長：4～7cm

特徴：八重山でもっともたくさん見られるカエル。

特に水田や集落の近くに多く、オオヒキガエルとの見分けには注意が必要。

### サキシマヌマガエル(背中線入り)

背中にははっきりした線を持つものもいる。線がもっと太いものもいる。



### オオハナサキガエル

分布：石垣島、西表島

全長：6～12cm

特徴：八重山でもっとも大きくスマートなカエル。



### コガタハナサキガエル

絶滅危惧ⅠB類

分布：石垣島、西表島

全長：4～6cm

特徴：山地の溪流だけにすむ珍しいカエル。



# 八重山でみられるカエルたち

外来種に注意するためには、私たちの島にいるほかのカエルについても知っておく必要があります。

## 八重山の外来カエル

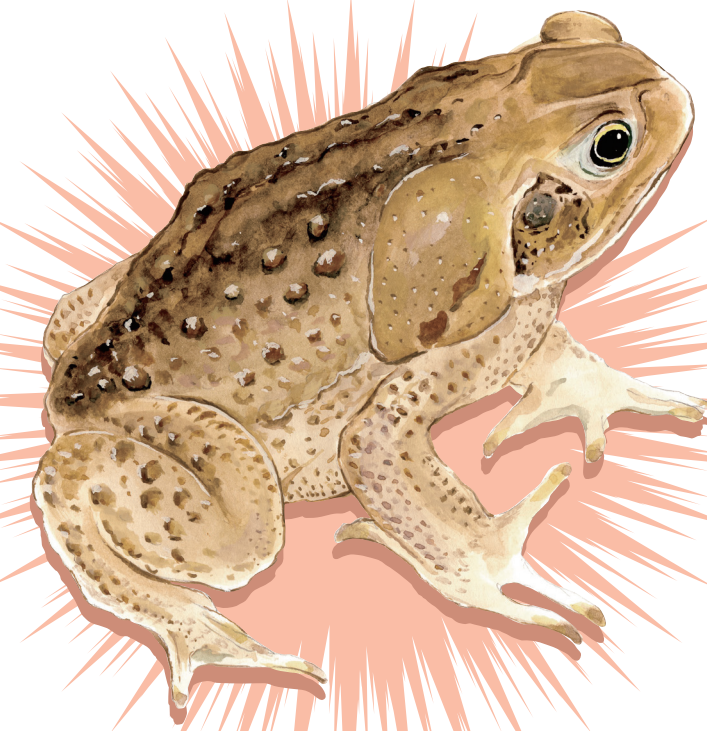
### シロアゴガエル

特定外来生物

分布：石垣島（その他宮古諸島の大部分、沖縄諸島の大部分、北大東島、与論島）に人為的に分布

全長：4～8cm

特徴：木の上すみ、クリーム色の泡巣を春から秋に産卵する。白い下あごが特徴。「ギーッ…」と鳴く。



### ウシガエル

特定外来生物

分布：小浜島（その他日本各地、沖縄県内では、沖縄島、久米島、伊平屋島、伊是名島、伊江島）に人為的に分布

全長：11～18cm

特徴：食用のためあちこちに放された。牛のような声で鳴く。



### オオヒキガエル

特定外来生物

分布：石垣島（その他大東諸島、小笠原諸島）に人為的に分布

全長：9～15cm

特徴：耳腺が目立ち、背中には一面のイボイボがある。小さい個体はサキシマヌマガエルと間違えやすいが、本種は上のまぶたが張り出しているのが特徴。

## 八重山の在来カエル

### ヤエヤマアオガエル

分布：石垣島、西表島

全長：4～7cm

特徴：木の上すみ、産卵のピークは冬季で、白い泡巣を作る。⇒シロアゴガエルの泡巣は黄色味があり、産卵は春～秋がピーク。

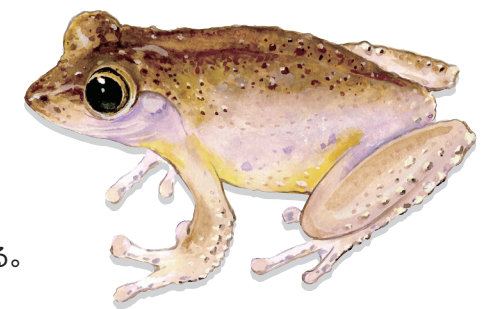


### アイフィンガーガエル

分布：石垣島、西表島（その他台湾）

全長：3～4cm

特徴：樹上性で、樹洞の水たまりなどで産卵する。「ピッ、ピッ…」と鳴く。



### ヒメアマガエル

分布：八重山諸島（その他沖縄諸島、奄美諸島）

全長：2～3cm

特徴：日本最小のカエルで、八重山には多い。

### リュウキュウカジカガエル

分布：八重山諸島（その他沖縄諸島、トカラ列島、宝島、以南の琉球列島、台湾）

全長：3～4cm

特徴：小さいが足の長いカエル。八重山には多い。

